



広報

くにもと

Dec 2020

No. 76

【編集・発行】国本地区づくり振興会

祝 国本地区在住 増田成幸さん 東京五輪の日本代表候補選手に決定!



今回、私たちは多くの逆境を乗り越えて代表の座を掴んだ増田選手から、夢と希望をもらおうと同時に、挑戦すること、努力すること、そして夢をあきらめない勇気をもらいました。国本地区として、増田成幸さんの代表候補選手決定を心よりお祝い申し上げますとともに、東京オリンピックでのご活躍を期待し応援したいと思います。



増田成幸選手コメント

この度、東京オリンピックロードレースの日本代表候補へ選出されましたこと、大変光栄に思います。2020年はコロナ禍の影響により、各方面で大きなストレスを抱えながらのシーズンとなりましたが、応援して下さる皆様の声を支えられて、気持ちを強く持ち続けることが出来ました。

来季はチームを離れるメンバーやスタッフが沢山います。支えてくれた仲間たちのお陰で今の自分がある。そのことは絶対に忘れません。日の丸を背負って戦えることに誇りを持ち、当日のレースで最高のパフォーマンスを発揮できるように、準備をして行きたいと思います。

避難所開設・運営訓練実施 国本地区市民センターと晃宝小学校 ～風水害時に優先的に開設される避難所～

9月28日

【場所】晃宝小学校 【主催】国本地区防災会・国本地区市民センター

【参加者】晃宝小学校、国本地区防災会、国本地区自治会連合会、晃宝小学校区・域内自治会長、国本中学校、国本中央小学校、避難所従事職員、国本地区市民センター

【参加人数】30名

昨年の台風19号上陸時には田川の越水等により市内各所で大きな被害を受け、国本地区においては、87名の方が地区市民センター等に避難しました。

このようなことから、市では、避難所に係る防災体制の強化を行い、風水害時に優先的に開設される避難所として、国本地区市民センターと晃宝小学校を選定しました。これを受け、避難所の運営に関わる防災会、自治会役員、学校の先生方、市役所の担当者などの参加により、9月28日に晃宝小学校における「避難所開設・運営訓練」を実施しました。

まず、物資の保管場所を確認し検温所や受付をセットするなど実際に避難所を開設しました。その後、検温で体調の悪い方をチェックし、専用の避難スペースに案内し、3密回避のためのスペース確保など、新型コロナウイルス対策に合わせた訓練を行いました。

訓練後は、参加者同士で意見交換を行い、受付で密を回避する方法や、検温の仕方についてなど、課題について話



し合われました。今回の訓練で見つかった課題等については今後検討し、より迅速で適切な避難所開設・運営に活かし、安心・安全な地域づくりに繋げていきたいと考えております。

地域の皆様においても、ハザードマップや避難所等の確認をしていただくなど、平常時からの準備をお願いいたします。

1 風水害時に優先的に開設する避難所

国本地区市民センター (宇都宮市宝木本町1868番地1)
晃宝小学校 (宇都宮市宝木本町1263番地)

2 その他避難所

国本中学校 (宇都宮市新里町丁1608番地)
国本中央小学校 (宇都宮市宝木本町1864番地)
国本西小学校 (宇都宮市新里町丙292番地)

令和2年度 くにもと生き生き教室 「防災に関する講座」開催

【場所】 国本地区市民センター
 【主催】 国本地区づくり振興会・国本生涯学習センター
 【参加者】 国本地区各機関団体・自治会等
 【参加人数】 13名 (8/8)・23名 (8/22)

8月8日 国本生涯学習センターでは、国本地区づくり振興会と共催で「くにもと生き生き教室（防災に関する講座）」を開催しました。

講座は二部構成で、第一部は宇治市危機管理課職員による新講座「災害対応に関する地域との連携」を、第二部はNPO法人国本消防団による「避難所運営ゲーム開催」を行いました。

第一部では、災害時の避難方法や避難所における感染症対策などを学び、第二部は、避難所運営ゲームにおいて、災害時に学校が避難所になったことを想定した避難所運営のシミュレーションを行いました。参加者からは、「自治会内の防災体制構築に役立った」「避難所運営はめずかしい」「地域防災について、改めて考えさせられた」など、自主防災会に防災に関心する多くの意見をいただきました。



家族介護教室

【場所】 国本地区市民センター
 【主催】 くにもと地区包括支援センター（宇治市支那事業）
 【参加人数】 6名

8月21日 「くにもと地区包括支援センター」は、高齢者の総合相談窓口として、平成18年に全国に設置されました。平野町内では、各中学校区に1か所ずつ開設されており、私たちは国本地区を担当しています。センターには、看護士・保健師・社会福祉士、主任介護支援専門員が配置され、介護予防に関することや高齢者の権利を守ることなど様々な相談を受け、地域の自治会長さん、民生委員さんなど関係機関と連携しながら高齢者やその家族を支援しています。

市の表彰事業のひとつである「介護介護教室」を8月21日開催しました。テーマは、「介護技術」で新しい生活スタイルにあわせてリハビリの考え方について、理学療法士を講師に迎え、感染予防対策を講じて実施することができました。日常生活の中でできる簡単なリハビリなどを学び、質問への対応も日々の悩みをわかちあうなど参加者の熱心な様子うかがうことができました。次回は来年2月19日後に開催します。



敬老の日のお祝い

【主催】 国本地区社会福祉協議会



9月13日 国本地区では、75歳以上の高齢者は1,704名になり、その中でお2人の今年100歳を迎えられた方に、互賀当相からの表彰状と書かれた特別な記念品が贈呈されました。敬老の日のお祝いは、新型コロナウイルス感染防止のため、武典やアトラクション等は尚待せ、自治会ごとに各町内の記念誌を敬老者の方々にあて送りました。

健康で長生きできる福祉は、「生きがい」そして「生活を楽しむ」ことがあるといわれます。敬老者の皆様には、新型コロナウイルスの感染防止に留意され、健康にお過ごしいただければと祈願しております。



利用者6万人を達成 （くにもとふれあい号）

【場所】 国本地区
 【主催】 国本地区国本交通協議会

9月24日 さる9月24日、ついに「くにもとふれあい号」の利用者が平成23年10月運行開始以来6万人目を達成いたしました。この日の第8便（16時の便）に4名の方が乗り合わせ達成することができました。なお、その日のおひとり様はくしくも3万人目の達成者でもあります。日頃より利用いただきありがとうございます。

「くにもとふれあい号」は年々利用者が増加しております。今後とも気軽に利用していただき、地域内の手軽な足としてご利用お待ちしております。



国本の見どころ再発見 （10倍楽しむ国本塾）

【場所】 国本地区市民センター・新東北部地区
 【主催】 国本生涯学習センター
 【共催】 共催国本地区づくり振興会 【参加人数】 17名

8月29日 9月19日 10月24日 11月21日 国本塾では地区内の道や神社・寺院などのほか、森田らしい景観など、多くの「見どころ」を紹介してまいりました。

今年度はコロナ禍により6回の開催を4回にして8月から開催しました。内容も地区づくり振興会で作成した「国本見どころマップ」に記載した「見どころ」を中心に、塾学2回と現地見学2回に分けて行いました。

座学ではマップ作成の趣旨と地区の概要、そして地区内を東西南北に分けて紹介し、現地見学では、バスを利用したりして、今まで行けなかった遺跡や貴重な文化財を見ることができました。



親子ワクワク教室

【主催】 国本生涯学習センター
 【参加人数】 6組

9月3日 10月15日 11月12日 この事業は、市内在住の未就学児童と保護者を対象にした講座です。子育て支援中のお母さんの支援を目的として毎年実施しています。

教室ではお子さんと一緒に歌ったり、保健師さん・保育士さんにご育ての経験や悩みを相談したり、「お母さん同」の交流を通してみんなで子育てについて学んでいます。今回の内容は、みんなで歌ってリフレッシュ、親子でリズム遊び、保野師さんによる感染症のお話、ハロウィン工作、親子でヨガなどです。



悟理道のお神輿修復

【場所】 悟理道自治会
 【主催】 悟理道自治会と有志

9月10日 公民館に嫁か仕舞われていたお神輿が、節の巻貝等に古い技術の彫刻類が施され、文化財としての価値が高いとの評価をいただきました。200年前に作られ、人々の騒音や地震の不安を鎮めていたことに改めて心が動かされました。当地域は開発が進行し若い世代が増えています。このシンボルとしての神輿を通し、ここに住む人が過大を知り、現在を生きて、そして明るく未来を築き、皆が幸せになることを祈願し修復を決定しました。神輿の活躍はもうじきです。



リサイクル施設書面見学会

【場所】 クリーンセンター下町庫(宇治市東部地区)
 【主催】 国本地区づくり家園整備委員会
 【資料費】 48名

10月1日 別年の環境部会主催のリサイクル施設見学会ですが、コロナ禍により、団体にバスに乗り換えての催行が3便の恐れがありました。高松の状況に鑑み、今年度は現地に行かず、資料発送による書面見学とさせていただきます。本来は、オープンしたてのクリーンセンター下町庫を実地見学予定でした。持ち込めるゴミは、可燃物が主体、紙紙屑で燃焼させる「全量焼却模式」を取っています。リサイクルできる資源物は、プラスチックとビン缶類です。

書面見学会についてのアンケートでは、
 ・やむを得ない ・良くいった
 ・ゴミそのものを減らさない
 ・コロナが収束したら、実地で 等、多くの意見をいただきました。

アホなものの一方的な資料の送りだけという手法で実施しましたが、予想を超えて多くの方に目を通していただき、貴重なご意見をいただきました。ご協力有難うございました。



地域での健康づくり ボランティア養成講座

10/2・9・23・30
12/8

【場所】 国本地区市民センター
【主催】 市健康増進課 健康づくりグループ
【参加人数】 12名

この講座は国本地区内で健康づくりを推進するボランティアの方を養成する講座です。参加者は健康づくりに関心を持ち、国本地区での健康づくりを推進するボランティアとして活動できる方々が参加しました。講座では生き生きと健康に暮らしていくために必要な「食事・運動・休養」などの基礎知識と技術を学びました。

今後は国本地区で気軽に、楽しく、市の健康づくりの輪を広げる活動の仲間の一員として活動されることを期待しています。



国本地区長寿会連合会 グラウンド・ゴルフ大会

10/11

【場所】 国本中学校校庭
【主催】 国本地区長寿会連合会
【参加人数】 70名

新型コロナウイルスの影響により、本年度の行事がすべて中止となり、長寿会としても、会員の体力の減退及び、会員間の意思の疎遠等が懸念されましたが、やっと中学校の校庭を確保でき、開催することができました。

当日は、台風14号の影響により天候が心配でしたが、雨が上がりグラウンドコンディションも良好とはいえない中、早朝より愛好会の役員の方たちのグラウンド整備により、開催の運びになりました。参加者数70名で待ちに待ったプレーにてハッスルし、熟年パワーを発揮してホールインワンも多数達成し、元気一杯和気あいあいの内に終了することができました。包括センターの方々の応援もいただき、お陰様にて事故、怪我もなく無事終了できました。

時節柄、来賓及びその他の方々には連絡もせず申し訳なく思っております。また、年配者が元気であれば、地域あるいは家庭においてよりハッピーであると感じており、またさすがに年配者であると言われるように、知識や経験等皆さんの見本となるよう研鑽するつもりです。今後とも長寿会にご理解の程お願いいたします。



国本地区市民センターから

貸館停止の お知らせ

センター施設の維持保全を図るため、12月より空調設備の改修工事を予定しております。工事期間中は、令和3年3月31日まで、貸館を停止いたします。

なお、住民票などの証明書を発行する窓口や、まちづくり支援などに関する窓口は、通常どおりの業務になります。

図書につきましては業務が決まりましたら、センター玄関に表示をしてお知らせいたします。

利用者の皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

国本地区データ



総世帯数 6,152世帯

総人口 14,769人

男 7,296人 女 7,473人

(令和2年10月末日現在)

編集スタッフ募集

「広報くにもと」の編集ボランティアを募集しています。年齢・経験は問いません。

【問合せ】 国本地区市民センター TEL.665-2942